DocuPrint 205/255/305
補足説明書

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制 (電波規制や材料規制など) は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびは、DocuPrint 205/255/305（以降、本機と呼びます）をご購入いただきありがとうございます。

本書は、本機をご使用される方を対象に、本機のソフトウェアや概観のバージョンアップによって追加、変更、または削除された内容を説明しています。

次のマニュアルに変更や追加があります。

・ DocuPrint 205/255/305　セットアップ＆リファレンスガイド
　1 版 2003 年 9 月発行（帳票番号：DE3157J1-1）
・ DocuPrint 205/255/305　ユーザーズガイド
　1 版 2003 年 9 月発行（帳票番号：ME3171J1-1）

また、変更内容は 2009 年 3 月現在（Firmware バージョン 1.1.38）のもので、今後、予告なく変更される場合があります。

本書は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に記載しています。

本機の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、ご使用になる前に必ず、『ユーザーズガイド』および『セットアップ＆クイックリファレンスガイド』とあわせて本書をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。

2009 年 4 月
富士ゼロックス株式会社

弊社は、製品の研究開発から廃棄にいたる事業活動全般において、地球環境の保全を経営の重要課題のひとつに位置づけております。これまでも環境負荷を低減するために、生産施設におけるフロンの全廃など、さまざまな活動を展開してまいりました。

また、お客様の身近なところでは、複写機やプリンターで使用した用紙、消耗品のカートリッジやパーツなどのリサイクルを推進することにより、今後も資源の保護に積極的に取り組んでまいります。

目次

マニュアル体系

本機に同梱されているマニュアルと記載内容

セットアップ & クイックリファレンスガイド	本機の設置手順、用紙のセット方法、困ったときの対処方法などを説明しています。
追加機能説明書（本書）	本機のソフトウェアや概観のバージョンアップにより追加、変更または削除された内容を説明しています。
CentreWare の CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）	プリンター環境の設定方法と、プリンタードライバーおよび弊社ソフトウエアのインストール方法を説明しています。
CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ	CentreWare Internet Services の項目や各機能の設定方法を説明しています。
プリンタードライバーのオンラインヘルプ	プリンタードライバーの項目や各機能の設定方法を説明しています。
ユーザーズガイド (PDF)	印刷設定の説明や、操作パネルのメニュー項目、日常管理について、詳しく説明しています。 （このマニュアルは、CentreWare の CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に格納されています。）
各エミュレーション設定ガイド (PDF)	ART IV、ESC/P、201H、HP-GL、HP-GL/2 の各エミュレーションについて説明しています。 （このマニュアルは、CentreWare の CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に格納されています。）

オプション製品に同梱されているマニュアル、購入するマニュアル

PostScript Driver Library CD-ROM 内のマニュアル (PDF)	PostScript® プリンターとして使用するための設定方法や、プリンタードライバーで設定できる項目を説明しています。 （PostScript Driver Library CD-ROM は、PostScript ソフトウエアキットに同梱されています。）
設置手順書	各オプション製品の設置手順を説明しています。
商品マニュアル（必要に応じて購入してください）	プリンター（プロッター）制御言語のコマンドなどを説明したマニュアル（リファレンスマニュアル（ART IV 対応）など）です。

補足

- PDF 文書を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Acrobat® Reader がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、CentreWare の CD-ROM を使って、Acrobat Reader をインストールしてください。

本書の使い方

本書の構成

本書は、以下の構成になっています。

1. プリンターの基本操作

   節電機能の変更を説明しています。

2. 印刷する

   次の項目の変更、追加を説明しています。
   - 郵便はがきに印刷する
   - PDF ファイルを直接印刷する
   - 両面印刷での制限事項の追加

3. 用紙について

   次の項目の変更、削除を説明しています。
   - 使用できる用紙
   - 使用できない用紙

4. 操作パネルの設定

   次の項目の追加、変更、または削除を説明しています。
   - メニュー項目の説明
   - メニュー一覧

5. 困ったときには

   次の項目の追加、変更、または削除を説明しています。
   - エラーメッセージ
   - エラーコード

A. 付録

   次の項目の追加、変更を説明しています。
   - 本機の重さ・大きさの変更
   - バーコードの設定
   - QR コードの設定
   - 補修用性能部品について
   - 関連情報

本書の表記

1. 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

2. 本文中では、説明する内容によって、次のように記載しています。

   注記　　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

   補足　　補足事項を記述しています。

   参照　　参照先を記述しています。

3. 本文中の参照先の表記は、内容によって、次の括弧を使用しています。

   「　　」: 参照先は、本書内です。

   『　　』: 参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。

4. 本文中では、次の記号を使用しています。

   [　　] : コンピューターやプリンター操作パネルのディスプレイに表示される項目を表します。また、プリンターから出力されるレポート / リスト名を表します。

   〈　　〉: キーボード上のキーや、プリンターのハードウエアボタン、ランプなどを表します。

安全にご利用いただくために

機械を安全にお使いいただくために、本機をご使用になる前に必ず、『セットアップ＆リファレンスガイド』の「安全にご利用いただくために」とあわせて最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

高温注意

発火注意

感電注意

指挟み注意

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁　止

火気禁止

分解禁止

接触禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示

電源プラグを抜け

アースを接続せよ

機械使用上の注意

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

消耗品取り扱い上の注意

ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。

ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。

次の事項に従って、応急処置をしてください。

・トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。

- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

環境について

- 粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物（TVOC）の放散については、エコマークプリンターの物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています (トナーは本製品用に推奨しております DocuPrint 305/255/205 トナー（ブラック）を使用し、白黒印刷を行った場合について、試験方法 JBMS-66 に基づき試験を実施しました。)

- 回収したドラムカートリッジおよびトナーカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。

- 不要となったドラムカートリッジおよびトナーカートリッジは適切な処理が必要です。ドラムカートリッジおよびトナーカートリッジの容器は、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。

1 プリンターの基本操作

この章では、プリンターの基本操作で変更された項目を説明します。

1.1 節電状態を解除する

各節電モードに切り替わるまでの時間を変更しました。
『ユーザーズガイド』の「1.3 節電状態を解除する」と合わせてお読みください。

本機は、待機しているときの電力の消費を抑えるために、低電力モードとスリープモードの 2 つのモードを備えています。

工場出荷時は、5 分間印刷データを受信しないと、低電力モードに移行し、さらに 4 分間データを受信しないと（最後のデータ受信から 10 分間経過すると）スリープモードに移行する設定になっています。

低電力 / スリープモードに移行するかどうか、および移行する場合は低電力 / スリープモードに切り替わるまでの時間を、低電力モードは 1 〜 60 分、スリープモードは 5 〜 60 分の間で設定できます。

スリープモード時の消費電力は、5.5W 以下で、スリープモードから印刷できる状態になるまでの時間は、約 7 秒です。

補足

- 低電力モードとスリープモードのどちらかを有効にすることもできます。
- 低電力モードとスリープモードを両方とも無効に設定することはできません。
- 低電力モードとスリープモードを、共に有効にしている場合は、スリープモードの設定が優先されます。たとえばスリープモード移行時間を 15 分、低電力モード移行時間を 45 分に設定している場合は、最後のデータ受信から 15 分後にスリープモードに移行し、さらに 30 分たっても低電力モードにはならず、スリープモードが継続したままになります。

参照

- 低電力 / スリープモードの設定を変更する手順については、『ユーザーズガイド』の「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」を参照してください。

2　印刷する

この章では、印刷機能に追加 / 変更された項目を説明します。

2.1　郵便はがきに印刷する

はがきの名称を郵便はがきに変更しました。
『ユーザーズガイド』の「2.2 官製はがきに印刷する」を次のように読み替えてください。

郵便はがきに印刷する方法を説明します。

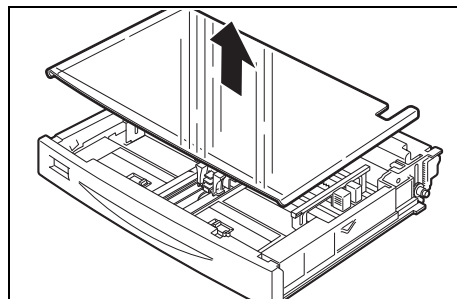
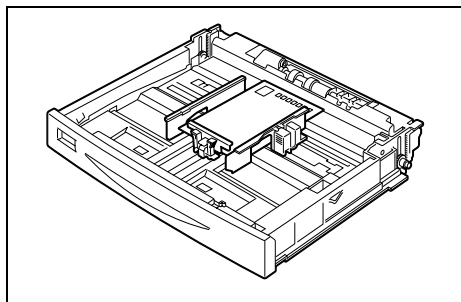
注記
・ かもめーるなどの多色刷りのはがき、インクジェット用のはがきは使用できません。

郵便はがきをセットする

郵便はがきは、用紙トレイ 1 ～ 4 と、手差しトレイ（オプション）の場合でセットする向きが異なります。次の手順に従って、正しくセットしてください。

郵便はがきを用紙トレイにセットする

参照
・ 用紙トレイに用紙をセットする詳しい手順については、『ユーザーズガイド』の「用紙トレイに用紙をセットする」を参照してください。

1. トレイを手前に引き出し、用紙トレイを平らな場所に置き、用紙トレイのフタを取ります。

2. 用紙トレイに、印刷したい面を上にして、たて置きにセットします。このとき、郵便番号記入欄は、奥側に合わせます。

3. 用紙トレイの縦、横ガイドを、セットした郵便はがきのサイズに合わせます。

4. 用紙トレイのフタを閉め、プリンターの奥に突き当たるまでしっかり押し込みます。

5. 操作パネルで、トレイの用紙種類を［ｱﾂｶﾞﾐ2］に変更します。

参照
・詳しくは、『ユーザーズガイド』の「3.4 用紙の種類を設定する」参照してください。

6. 操作パネルで、トレイの用紙サイズを［ﾃｲｹｲｶﾞｲ］に変更し、用紙サイズを設定します（タテ：148mm、ヨコ：100mm）。

参照
・詳しくは、『ユーザーズガイド』の「3.3 ユーザー定義用紙のサイズを設定する」を参照してください。

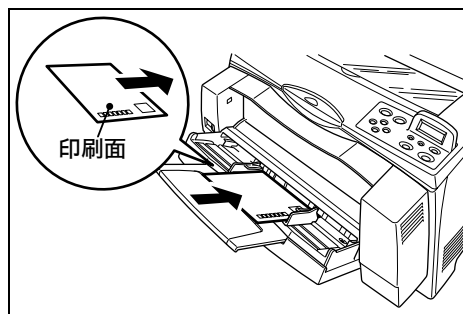
7. 手順 5 で設定したサイズをユーザー定義サイズとして、プリンタードライバーで登録します。

参照
・詳しくは、『ユーザーズガイド』の「ユーザー定義サイズを設定する」(P. 32) を参照してください。

郵便はがきを手差しトレイ (オプション) にセットする

参照
・ 手差しトレイに用紙をセットする詳しい手順については、『ユーザーズガイド』の「手差しトレイ（オプション）に用紙をセットする」を参照してください。

1. サイドガイドを、郵便はがきの目盛りに合わせます。

2. 印刷する面を上にして、よこ置きにセットします。このとき、郵便番号記入欄は、右側に合わせます。

3. 手差しトレイのサイズ設定ダイヤルを〈官製はがき 〉に合わせます。

郵便はがきに印刷する

郵便はがきに印刷するときの設定は、［トレイ / 排出］タブと［基本］タブを表示して行います。ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足

・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションマニュアルを参照してください。

1. ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

2. [プリンタの選択] で本機を選択し、[詳細設定] をクリックします。

3. ［トレイ / 排出］タブをクリックします。

4. 用紙トレイ 1 ～ 4 にセットした場合

   ・［用紙トレイ選択］から、セットした用紙トレイを選択するか、［用紙種類の優先指定］をクリックして、［用紙種類の優先指定］ダイアログボックスを表示し、［用紙種類］で［厚紙 2］をクリックします。

   手差しトレイにセットした場合

   ・［用紙トレイ選択］で［トレイ 1（手差し)］をクリックします。

補足

・ 手差しトレイに郵便はがきをセットしている場合の用紙種類は、プリンター本体のサイズ設定ダイヤルを < 官製はがき > にセットすることによって自動的に検知されます。プリンタードライバーでの指定は必要ありません。

5. ［基本］タブをクリックします。

6. ［原稿サイズ］で任意の原稿サイズをクリックします。

7. ［出力用紙サイズ］で手差しトレイにセットした場合
   ・［官製はがき］をクリックします。

   用紙トレイにセットした場合
   ・登録したユーザー定義サイズをクリックします。

8. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックします。
   印刷が実行されます。

2.2 PDF ファイルを直接印刷する

PDF Bridge 機能でも、LZW 圧縮を使用したオブジェクトを含む PDF ファイルを、サポートしました。

『ユーザーズガイド』の「2.9 PDF ファイルを直接印刷する」を次のように読み替えてください。

本機では、PDF ファイルをプリンタードライバーを使用しないで、直接プリンターに送信して印刷できます。PDF ファイルが直接プリンターに送信されるので、プリンタードライバーを使用して印刷するときよりも簡単で高速に印刷されます。
PDF ファイルを直接印刷する方法には、次の 2 種類があります。

■ PDF Bridge 機能を使用する

PDF Bridge は、本機に標準で搭載している機能です。PDF Bridge 機能を使用して PDF ファイルを印刷するには、弊社ソフトウエアの ContentsBridge Utility を使用する方法と、lpr コマンドなどを使って直接プリンターに送信して印刷する方法があります。

補足

・ PDF Bridge の機能を使って正しく印刷するためには、増設メモリー（オプション）が必要な場合があります。

参照

・ ContentsBridge Utility を使用する場合は、『ユーザーズガイド』の「ContentsBridge Utility を使用して PDF ファイルを印刷する」を参照してください。lpr コマンドなどを使用する場合は、『ユーザーズガイド』の「ContentsBridge Utilityを使用しないでPDFファイルを印刷する」を参照してください。

■ PostScript の機能を使用する

PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合は、PostScript の機能を使用して PDF ファイルを直接プリンターに送信して印刷できます。

注記

・ USB、パラレルポートを使用して PDF ファイルを直接印刷するときは、ContentsBridge Utility を使用してください。

参照

・ PostScript の機能を使用して PDF ファイルを直接印刷するときは、『ユーザーズガイド』の「PDF」を参照して操作パネルで［PDF］の［ﾌﾟﾘﾝﾄｼｮﾘﾓｰﾄﾞ］を［PS］に設定してから、『ユーザーズガイド』の「ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する」を参照して印刷してください。

2.3　両面印刷での制限事項について

両面印刷可能な用紙のサイズの制限を追加しました。

『ユーザーズガイド』の「A.6　注意 / 制限事項 > 使用できる用紙について」と合わせてお読みください。

追加制限について

両面印刷が可能な用紙サイズは、次のとおりです。

給紙方法	印刷可能サイズ
トレイ１	幅 100 ～ 304.8 mm 長さ 139.7 ～ 431.8 mm
トレイ２～４	幅 100 ～ 296 mm 長さ 149 ～ 431.8 mm
手差しトレイ	幅 100 ～ 304.8 mm 長さ 139.7 ～ 431.8 mm

3　用紙について

この章では、用紙について追加 / 変更された項目を説明します。

3.1　用紙について

『ユーザーズガイド』の「3.1 用紙について」を次のように読み替えてください。

使用できる用紙

本機で使用できる用紙は、次のとおりです。

■ 使用できる用紙の質量と枚数

用紙トレイ	サイズ	メートル坪量 (単位：g/m²)	セット可能枚数
用紙トレイ 1	自動検知できる定形サイズ： A5、B5、A4、A4、B4、 A3、Letter（8.5×11"）、 Legal（8.5×14"） ユーザー定義 郵便はがき, 次のサイズの用紙 (76×98 ～ 305×900 mm)	郵便はがき：190 その他の用紙： 60 ～ 216	郵便はがき：55 枚 150 枚（P 紙）、 または 17.5mm 以下
用紙トレイ 2 ～ 4 (用紙トレイ 3、4 はオプション)	自動検知できる定形サイズ： A5、B5、A4、A4、B4、 A3、Letter（8.5×11"）、 Legal（8.5×14"） ユーザー定義 郵便はがき, 次のサイズの用紙 (76×148 ～ 297×432 mm)	郵便はがき：190 その他の用紙： 60 ～ 216	250 枚トレイ： 郵便はがき：77 枚 その他の用紙： 250 枚（P 紙）、 または 27.6mm 以下 550 枚トレイ： 郵便はがき：200 枚 その他の用紙： 550 枚（P 紙）、 または 59.4mm 以下

用紙トレイ	サイズ	メートル坪量 (単位：g/m^2)	セット可能枚数
手差しトレイ (オプション)	自動検知できる定形サイズ： B5、A4、B4、A3、 Letter（8.5×11"）、Legal（8.5×14"） その他： A5、5.5×8.5"、7.25×10.5"、8.5×13"、11×17"、封筒洋形 4 号、封筒モナーク、 封筒 #10、封筒 DL、封筒 C5 ユーザー定義 郵便はがき, 次のサイズの用紙 (76×98 ～ 305×900 mm) *A5、B5、7.25×10.5"は、使用できません。	60 ～ 135 郵便はがき：190	100 枚（P 紙）、 または 10mm 以下

注記

・ プリンタードライバーで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙で印刷したり、適応していない用紙トレイにセットして印刷したりすると、紙づまりの原因になります。適正な印刷をするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。
・ 水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくは弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
・ はがき印刷をする際には、プリンタードライバでユーザー定義サイズを設定してください。

参照

・ 郵便はがきに印刷する方法については、本書の「2.1 郵便はがきに印刷する」を参照してください。

■ 使用できる用紙の種類

一般に使用されている用紙（一般紙と呼びます）にプリントをする場合は、規格に合った用紙を使用してください。より鮮明にプリントするためには、弊社では次の標準紙を推奨しています。

標準紙

本機の標準紙は、次のとおりです。

用紙名	メートル坪量 (単位：g/m²)	用紙種類	用紙の特長と使用上の注意
FX P	64	普通紙	社内配布資料、一般のオフィス用の中厚口用紙
XEROX 4024DP	75	普通紙	社内配布資料、一般のオフィス用の中厚口用紙
XEROX 4200DP	75	普通紙	社内配布資料、一般のオフィス用の中厚口用紙

一般紙

弊社が推奨する用紙は、次のとおりです。

用紙名	メートル坪量 (単位：g/m²)	用紙種類	用紙の特長と使用上の注意
FX L	64	普通紙	社内配布資料、一般のオフィス用の中厚口用紙
FX EP	64	普通紙	上質プリンター用紙
FX EPR	67	再生紙	古紙パルプ 70% 以上で長期保存性に優れた再生紙
FX R	67	再生紙	古紙パルプ 70% 以上で長期保存性に優れた再生紙

特殊紙

本機では、次の用紙にも印刷できます。これらの用紙を特殊紙と呼びます。

用紙名	メートル坪量 (単位：g/m²)	用紙種類	用紙の特長と使用上の注意
弊社推奨の本機用 OHP シート	-	OHP フィルム	白枠なしの OHP フィルム 補足 ・ 排出された OHP フィルムは貼り付きのおそれがあるので、約 20 枚を目安に排出トレイから取り出し、よくさばいて温度を下げてください。
20 面ラベル V860	-	厚紙 1	-
郵便はがき	190	厚紙 2	-
洋形 4 号、モナーク、COM#10、C5、DL サイズ封筒	-	厚紙 1	-

注記
・ 封筒のうら面には印刷できません。
・ はがきを両面印刷する場合は、画質は保証できません。
・ ユーザー定義サイズで、用紙の種類が厚紙 2 の用紙に印刷する場合は、印刷間隔が非常に長く（最大約 60 秒）なることがあります。

補足
・ 表に記載されていない厚紙などの特殊紙については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
・ RX110、KF135 のお取り扱いは終了しました。

参照
・ OHP フィルムや封筒に印刷する方法については、『ユーザーズガイド』の「2 印刷する」を参照してください。
・ 郵便はがきに印刷する方法については、本書の「2.1 郵便はがきに印刷する」を参照してください。

使用できない用紙

次のような用紙は、紙づまりや故障、および装置破損の原因になりますので、使用しないでください。

- 弊社が本機で推奨していない OHP フィルム (例：V556、V558、V302)
- インクジェット専用紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 一度印刷された用紙（カラープリント含む）
- しわや折れ、破れのある用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 反っている（カールしている）用紙
- 静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙、のりの付いた用紙
- 絵入りのはがき
- 紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 150°C の熱で変質するインクを使った用紙
- 感熱紙
- カーボン紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字ボケが出ることがあります。そのときは、中性紙に替えてください。
- 凹凸や止め金のある封筒
- 台紙全体がラベルなどで覆われていないラベル用紙

注記
絵入りのはがきを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ロールに付着し、給紙できなくなることがあります。

両面印刷の際の制限事項

両面印刷できる用紙サイズに次のような制限が追加されました。
『ユーザーズガイド』の「A.6 注意 / 制限事項」の「使用できる用紙について」の表と合わせてご覧ください。

用紙サイズと向き	給紙トレイ			両面ユニット
	トレイ１	トレイ２～４	手差しトレイ	
ユーザー定義	▲	▲	○*1	○*2

○：使用可　▲：ユーザー定義サイズとして使用可

- *1：これらの用紙をセットした場合は、用紙サイズダイヤルを <その他> に合わせます。
- *2：トレイ１では、長さ 297 mm を超える用紙、もしくは長さ 148 mm 未満たない用紙は使用できません。用紙の坪量は、60 ～ 190g/ ㎡です。

4　　操作パネルの設定

この章では、操作パネルの設定について、追加 / 変更された項目を説明します。

4.1　　メニュー項目の説明

メニュー項目を追加 / 変更しました。
『ユーザーズガイド』の「4.2 メニュー項目の説明」の各項目を次のように読み替えてください。また、本書の「4.2　メニュー一覧」と合わせてお読みください。

プリント言語の設定

Øノ　ジタイ

ESC/P で , 0（ゼロ）のフォントを次のどちらにするかを設定します。

[Ø]（初期値）

[0]

ヨウシ サイズ（テザシ）（用紙サイズ（手差し）

手差しトレイ（オプション）にセットする用紙のサイズを設定します。

候補値は次のとおりです。

[A4]（初期値）

[A3]［A5］[B4］[B5]

[8.5×14]（リーガル）[8.5×11]（レター）[8.5×13]［11×17]

[7.25x10.25] [ﾌｳﾄｳ #10]

Line Termination

プリンタードライバーを使用しない場合など、行末コードの指定がされていない印刷をする場合は、行末コードを指定する必要があります。

候補値はつぎのとおりです。

[ｼﾅｲ]（初期値）

[Add-LF] [Add-CR] [CR-XX]

機械管理者メニュー

EtherTalk(ｺﾞｶﾝ)

EtherTalk(ｺﾞｶﾝ) を使う場合に設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられているときに表示されます。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）

電源を入れたときに、EtherTalk ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。EtherTalk を使う場合、[ｷﾄﾞｳ] に設定してください。

候補値は、次のとおりです。

[ﾃｲｼ]（初期値）

[ｷﾄﾞｳ]

注記
・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[ﾒﾓﾘｰｾｯﾃｲ] でメモリー割り当て容量を変更してください。

■PJL

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ﾕｳｺｳ］にします。

候補値はつぎのとおりです。

[ﾕｳｺｳ]（初期値）

[ﾑｺｳ]

WINS サーバー セッテイ（WINS サーバー設定）

WINS サーバーの設定で、DHCP からアドレス取得設定の初期値を変更しました。

■DHCP カラ アドレスシュトク（DHCP からアドレス取得）

WINS（Windows Internet Name Service）を利用するために必要な、WINS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかしないかを指定します。自動的に取得しない場合、手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

候補値はつぎのとおりです。

[ｼﾅｲ]（初期値）

[ｽﾙ]

システム設定

テイデンリョクイコウジカン（低電力移行時間）

低電力モードに移行するまでの時間を、1 ～ 60 分の間で 1 分単位に設定します。低電力モードになると、操作パネルのディスプレイが消灯し、〈節電〉ボタンのランプが点灯します。初期値は［5 ﾌﾝｺﾞ ］です。

参照
・ 詳しくは、『ユーザーズガイド』の「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」を参照してください。

プリント設定

キホン ノ　ヨウシサイズ（基本の用紙サイズ）

常に使う用紙サイズを設定します。

候補値はつぎのとおりです。

[A4]（初期値）

[8.5x11]

フォントのダウンロード

本機では、PCL を使用してフォントやフォームをダウンロードし、登録する機能が追加になりました。また、登録されたフォームやフォントは、操作パネルから削除することができます。

登録されたフォームやフォントを削除するには、〈メニュー〉ボタンを押してメニュー画面を表示し、［ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ］ ＞ ［ｼｮｷｶ / ﾃﾞｰﾀ ｻｸｼﾞｮ］ ＞ ［ﾌｫﾝﾄ ｻｸｼﾞｮ］ を選択します。

4.2 メニュー一覧

メニュー一覧に設定項目を追加 / 変更しました。
『ユーザーズガイド』の「4.3 メニュー一覧」を次のように読み替えてください。
また、追加 / 変更された項目は、点線で囲んであります。

参照
・ 各機能についての詳細は、本書の「4.1 メニュー項目の説明」および『ユーザーズガイド』の「4.2 メニュー一覧」を参照してください。

・ 主な操作と使用する操作パネルのボタン

メニュー画面を表示 / 終了する	〈メニュー〉ボタン
メニューの階層を切り替える	〈▶〉ボタン（1 つ下の階層に移動）、または〈◀〉ボタン（1 つ上の階層に戻る）
同階層内でメニューや項目を切り替える	〈▲〉ボタン（1 つ前のメニューや項目を表示）、または〈▼〉ボタン（1 つあとのメニューや項目を表示）
設定値のカーソル（_）を左右に移動する	〈▶〉ボタン（1 つ右に移動）、または〈◀〉ボタン（1 つ左に移動）
設定を確定する	〈排出 / セット〉ボタン

補足

- ▭は次のオプション製品を取り付けた場合に設定できます。
  - ①：PostScript ソフトウエアキット
  - ②：内蔵増設ハードディスク
  - ③：両面ユニット
  - ④：トレイ３およびトレイ４
  - ⑤：オフセット排出トレイ
  - ⑥：リアトレイ
  - ⑦：手差しトレイ
- ＊は、初期値です。

次ページに続く

前のページから
キカイ カンリシャ メニュー
ネットワーク/ポート セッテイ
<▼>ボタンで
システムセッテイ
プリントセッテイ
メモリーセッテイ
ショキカ データサクジョ
メニューに続く
コトバ キリカエ
ニホンゴ、English
パラレル
ポート ノ キドウ
キドウ ＊、テイシ
プリントモード シテイ
ジドウ ＊、ART EX、①PCL、①PS、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、HexDump
PJL
ユウコウ ＊、ムコウ
① Adobe ツウシンプロトコル
ヒョウジュン ＊、バイナリー、TBCP
ジドウ ハイシュツ ジカン
30ビョウ ＊
5～1275秒 単位：5秒
ソウホウコウ ツウシン
ユウコウ ＊、ムコウ
LPD
ポート ノ キドウ
キドウ ＊、テイシ
プリントモード シテイ
ジドウ ＊、ART EX、①PCL、①PS、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、HexDump
PJL
ユウコウ ＊、ムコウ
コネクション タイムアウト
16ビョウ ＊
2～3600秒 単位：1秒
① TBCP フィルター
ムコウ ＊、ユウコウ
ポートバンゴウ
515 ＊
515、8000～9999
横に進むには <◀><▶>
上下に進むには/候補値選ぶには <▲><▼>
設定を確定するには <排出/セット>
NetWare
ポート ノ キドウ
テイシ ＊、キドウ
トランスポート プロトコル
TCP/IP,IPX/SPX ＊、TCP/IP、IPX/SPX
プリントモード シテイ
ジドウ ＊、ART EX、①PCL、①PS、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、HexDump
PJL
ユウコウ ＊、ムコウ
ケンサク カイスウ
ジョウゲンナシ ＊
100～1回
① TBCP フィルター
ムコウ ＊、ユウコウ
SMB
ポート ノ キドウ
キドウ ＊、テイシ
トランスポート プロトコル
TCP/IP,NetBEUI ＊、TCP/IP、NetBEUI
プリントモード シテイ
ジドウ ＊、ART EX、①PCL、①PS、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、HexDump
PJL
ユウコウ ＊、ムコウ
① TBCP フィルター
ムコウ ＊、ユウコウ
IPP
ポート ノ キドウ
テイシ ＊、キドウ
プリントモード シテイ
ジドウ ＊、ART EX、①PCL、①PS、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、HexDump
PJL
ユウコウ ＊、ムコウ
アクセスケン セイギョ
ムコウ ＊、ユウコウ
DNSショウ
ユウコウ ＊、ムコウ
ツイカポートバンゴウ
80 ＊
0、80、8000～9999
タイムアウト
60ビョウ ＊
0～65535秒
① TBCP フィルター
ムコウ ＊、ユウコウ
名称の変更
① EtherTalk (ゴカン)
ポート ノ キドウ
テイシ ＊、キドウ
PJL
ユウコウ ＊、ムコウ
USB
ポート ノ キドウ
キドウ ＊、テイシ
プリントモード シテイ
ジドウ ＊、ART EX、①PCL、①PS、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、HexDump
PJL
ユウコウ ＊、ムコウ
ジドウ ハイシュツ ジカン
30ビョウ ＊
5～1275秒 単位：5秒
① Adobe ツウシンプロトコル
ヒョウジュン ＊、バイナリー、TBCP
Port9100
ポート ノ キドウ
キドウ ＊、テイシ
プリントモード シテイ
ジドウ ＊、ART EX、①PCL、①PS、ART4、201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、HexDump
PJL
ユウコウ ＊、ムコウ
コネクション タイムアウト
60ビョウ ＊
2～65535秒
ポートバンゴウ
9100 ＊
8000～9999
① TBCP フィルター
ムコウ ＊、ユウコウ

前ページから

横に進むには 〈◀〉〈▶〉
上下に進むには 〈▲〉〈▼〉
/候補値選ぶには
設定を
確定するには 〈排出/ｾｯﾄ〉
UPnP
ﾎﾟｰﾄ ﾉ ｷﾄﾞｳ
ﾃｲｼ ＊、ｷﾄﾞｳ
SNMP ｾｯﾃｲ
ﾎﾟｰﾄ ﾉ ｷﾄﾞｳ
ｷﾄﾞｳ ＊、ﾃｲｼ
ﾄﾗﾝｽﾎﾟｰﾄ ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
UDP ＊、IPX、IPX,UDP
ｺﾐｭﾆﾃｨﾄｳﾛｸ(R)、
ｺﾐｭﾆﾃｨﾄｳﾛｸ(R/W)、
ｺﾐｭﾆﾃｨﾄｳﾛｸ(Trap)
[ﾐﾄｳﾛｸ]
英数/半角カタカナ入力12文字
TCP/IP ｾｯﾃｲ
IPｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
DHCP/Autonet ＊、DHCP、BOOTP、RARP、ｼｭﾄﾞｳ
IPｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸﾎｳﾎｳがｼｭﾄﾞｳの場合
IPｱﾄﾞﾚｽ、ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ、ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000
IPアドレス、ゲートウェイアドレス
000〜255 単位:001
(224〜255.NNN.NNN.NNN、
127.NNN.NNN.NNNは設定不可)
サブネットマスク
各フィールド:000,128,192,224,240,248,252,254,255
IPｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸﾎｳﾎｳがDHCP/Autonet、DHCP、BOOTP、またはRARPの場合
IPｱﾄﾞﾚｽ、
192.168.1.100(取得成功時の例)、ｼｭﾄｸﾁｭｳ ﾃﾞｽ、ｼｭﾄｸ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾃﾞｼﾀ
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ、ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
nnn.nnn.nnn.nnn
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄｻｰﾋﾞｽ
ｷﾄﾞｳ ＊、ﾃｲｼ
初期値の変更
WINSｻｰﾊﾞｰ ｾｯﾃｲ
DHCPｶﾗ ｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸ
ｼﾅｲ ＊、ｽﾙ
DHCPｶﾗｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸがｼﾅｲの場合
ﾌﾟﾗｲﾏﾘｰ IPｱﾄﾞﾚｽ、ｾｶﾝﾀﾞﾘｰ IPｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000
000〜255 単位:001
(224〜255.NNN.NNN.NNN、
127.NNN.NNN.NNNは設定不可)
DHCPｶﾗｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸがｽﾙの場合
ﾌﾟﾗｲﾏﾘｰ IPｱﾄﾞﾚｽ、
192.168.1.100(取得成功時の例)、ｼｭﾄｸﾁｭｳ ﾃﾞｽ、ｼｭﾄｸ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾃﾞｼﾀ
ｾｶﾝﾀﾞﾘｰ IPｱﾄﾞﾚｽ
nnn.nnn.nnn.nnn
Ethernet ｾｯﾃｲ
ｼﾞﾄﾞｳ ＊、100BASE-TX、10BASE-T
IPX/SPXﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
ｼﾞﾄﾞｳ ＊、Ethernet Ⅱ、Ethernet 802.3、Ethernet 802.2、Ethernet SNAP
ｳｹﾂｹ ｾｲｹﾞﾝ
IPﾎﾟｰﾄ ｾｲｹﾞﾝ
ｼﾅｲ ＊、ｽﾙ
ｳｹﾂｹ IPｱﾄﾞﾚｽｾｯﾃｲ
No.1〜10
IPｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000
ﾌｨﾙﾀｰｱﾄﾞﾚｽ
255.255.255.255
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
ｲｼﾞｮｳ ｹｲｺｸｵﾝ
ﾅﾗｻﾅｲ ＊、ﾅﾗｽ
ｿｳｻﾊﾟﾈﾙ ｾｯﾃｲ
ｿｳｻﾊﾟﾈﾙ ｾｲｹﾞﾝ
ｼﾅｲ ＊、ｽﾙ
ｽﾙを選択した場合は、暗証番号設定画面へ
ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳ ｾｯﾃｲ
[123456789012]
〈排出/ｾｯﾄ〉
ﾓｳｲﾁﾄﾞ ﾆｭｳﾘｮｸ
2回入力した番号が一致した場合、ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳｾｯﾃｲに戻る
ｵﾌﾗｲﾝ ｼﾞﾄﾞｳｶｲｼﾞｮ
ｼﾅｲ ＊、30ﾌﾝｺﾞ
1〜60分 単位:1分
ﾃｲﾃﾞﾝﾘｮｸ ﾓｰﾄﾞ
ﾕｳｺｳ ＊、ﾑｺｳ
ﾃｲﾃﾞﾝﾘｮｸｲｺｳｼﾞｶﾝ
5ﾌﾝｺﾞ ＊
1〜60分 単位:1分
ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
ﾕｳｺｳ ＊、ﾑｺｳ
初期値の変更
ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞｲｺｳｼﾞｶﾝ
10ﾌﾝｺﾞ ＊
5〜240分 単位:1分
ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｮﾌﾞﾘﾙｷ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ ＊、ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ
③ ﾚﾎﾟｰﾄ ﾘｮｳﾒﾝﾌﾟﾘﾝﾄ
ｶﾀﾒﾝ ＊、ﾘｮｳﾒﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｶﾉｳ ﾘｮｳｲｷ
ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ＊、ｶｸﾁｮｳ
ﾊﾞﾅｰｼｰﾄ ｾｯﾃｲ
ﾊﾞﾅｰｼｰﾄ ｼｭﾂﾘｮｸ
ｼｭﾂﾘｮｸｼﾅｲ ＊、ｽﾀｰﾄｼｰﾄ、ｴﾝﾄﾞｼｰﾄ、ｽﾀｰﾄ+ｴﾝﾄﾞｼｰﾄ
ﾊﾞﾅｰｼｰﾄ ﾄﾚｲ
ﾄﾚｲ2 ＊、ﾄﾚｲ1、④ﾄﾚｲ3、④ﾄﾚｲ4
② ｾｷｭﾘﾃｨｰﾌﾟﾘﾝﾄ ｿｳｻ
ﾕｳｺｳ ＊、ﾑｺｳ
ｼｽﾃﾑﾄｹｲ
ﾋﾂﾞｹ
ﾋﾂﾞｹ(yyyy/mm/dd)
[yyyy]年 2000〜2099 単位:1、
[mm]月 01〜12 単位:1、[dd]日 01〜31 単位:1
ｼﾞｺｸ
ｼﾞｺｸ(12ｼﾞｶﾝ)
時間 00〜23 単位:1、分 00〜59 単位:1
ﾋﾂﾞｹ ﾋｮｳｼﾞ ｷﾘｶｴ
yyyy/mm/dd、mm/dd/yyyy、dd/mm/yyyy
ｼﾞｺｸ ﾋｮｳｼﾞ ｷﾘｶｴ
12ｼﾞｶﾝｾｲ、24ｼﾞｶﾝｾｲ
ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ
GMT +09:00
−12:00〜+12:00、+9:30、+5:30、
+4:30、+3:30、−3:30 単位:1時間
ｻﾏｰﾀｲﾑ ｾｯﾃｲ
ｼﾅｲ ＊、ｽﾙ
ｻﾏｰﾀｲﾑ ｶｲｼﾋﾞ
ｶｲｼﾋﾞ (mm/dd)
ｻﾏｰﾀｲﾑ ｼｭｳﾘｮｳﾋﾞ
ｼｭｳﾘｮｳﾋﾞ (mm/dd)
ﾄﾞﾗﾑ/ﾄﾅｰ ｼﾞｭﾐｮｳ
ﾌﾟﾘﾝﾄﾃｲｼｽﾙ ＊、ﾌﾟﾘﾝﾄﾃｲｼｼﾅｲ

P.28 から

プ゛リント セッテイ
ヨウシ ノ オキカエ
シナイ *、オオキイサイズ゛ヲ センタク、チカイサイズ゛ヲ センタク、テザ゛シトレイ カラ キュウシ
トレイ ノ ヨウシシュルイ
トレイ1、2
フツウシ *、サイセイシ、アツガ゛ミ1、アツガ゛ミ2、OHPフィルム、1.ユーザ゛-1、2.ユーザ゛-2、3.ユーザ゛-3、4.ユーザ゛-4、5.ユーザ゛-5
トレイ3～4
フツウシ *、サイセイシ、アツガ゛ミ1、アツガ゛ミ2、OHPフィルム、1.ユーザ゛-1、2.ユーザ゛-2、3.ユーザ゛-3、4.ユーザ゛-4、5.ユーザ゛-5
トレイ1（テザ゛シ）
フツウシ *、サイセイシ、アツガ゛ミ1、OHPフィルム、1.ユーザ゛-1、2.ユーザ゛-2、3.ユーザ゛-3、4.ユーザ゛-4、5.ユーザ゛-5
手差しトレイ装着時はトレイ1は設定できない
横に進むには 〈◀〉〈▶〉
上下に進むには 〈▲〉〈▼〉
/候補値選ぶには
設定を確定するには 〈排出/セット〉
ヨウシ ノ ユウセン ジ゛ュンイ
フツウシ
1バ゛ンメ *
サイセイシ
2バ゛ンメ *
アツガ゛ミ1、アツガ゛ミ2
セッテイシナイ *
1～9バ゛ンメ、セッテイシナイから選択
1.ユーザ゛-1、2.ユーザ゛-2、3.ユーザ゛-3、4.ユーザ゛-4、5.ユーザ゛-5
セッテイシナイ *
トレイ ノ ユウセン ジ゛ュンイ
1バ゛ンメ
トレイ1 *
2バ゛ンメ
トレイ2 *
3バ゛ンメ
トレイ3 *
セットされているトレイによって表示される項目は異なる
トレイ ノ ヨウシサイズ゛
トレイ1
ジ゛ト゛ウ *、テイケイガ゛イ
〈排出/セット〉
タテ：98 ヨコ：76 *
タテ 98～900 ヨコ 76～305 単位：1mm
トレイ2
ジ゛ト゛ウ *、テイケイガ゛イ
〈排出/セット〉
タテ：148 ヨコ：76 *
タテ 148～432 ヨコ 76～297 単位：1mm
トレイ3、4
ジ゛ト゛ウ *、テイケイガ゛イ
〈排出/セット〉
タテ：148 ヨコ：77 *
タテ 148～432 ヨコ 76～297 単位：1mm
手差しトレイ装着時はトレイ1は設定できない
ヨウシ メイショウ セッテイ
1.ユーザ゛-1
[ユーザ゛-1]
2.ユーザ゛-2
[ユーザ゛-2]
3.ユーザ゛-3
[ユーザ゛-3]
4.ユーザ゛-4
[ユーザ゛-4]
5.ユーザ゛-5
[ユーザ゛-5]
英数、半角カタカナ文字
1～12文字で設定
オフセットハイシュツ
セットゴ゛トニズ゛ラス *、ジ゛ョブ゛ゴ゛トニズ゛ラス 、シナイ
ID インジ゛ キノウ
シナイ *、ヒダ゛リウエ、ミギ゛ウエ、ヒダ゛リシタ、ミギ゛シタ
キスウペ゛ージ゛ リョウメン
カタメン *、リョウメン
ヨウシ センタク モード゛
ジ゛ト゛ウ *、トレイ カラ センタク
ミトウロクフォームヘノ インジ゛
スル（デ゛ータ ノミ）*、シナイ
キホン ノ ヨウシ サイズ゛
A4 *、8.5x11
機能追加

P. 28 から

メモリー セッテイ
PSショウ メモリー
16.00M アキxxx.xxM
4.50MB～96.00MB 単位:0.25MB
ART EXフォームメモリー
128K アキxxx.xxM、ハードディスク
128KB～2048KB 単位:32KB
ハードディスク装着時は表示のみ
ART 4 フォームメモリー
ART4ユーザテイギメモリー
32K アキxxx.xxM
32KB～2048KB 単位:32KB
HPGLオートレイアウトメモリー
64K アキxxx.xxM、ハードディスク
64KB～5120KB 単位:32KB
ジュシンバッファ ヨウリョウ
パラレル メモリー
64K アキxxx.xxM
64KB～1024KB 単位:32KB
LPD スプール
スプール シナイ *、
ハードディスク スプール、
メモリー スプール
1024K アキxxx.xxM
1024KB～2048KB 単位:32KB
1.00M アキxxx.xxM
0.5MB～32.00MB 単位:0.25MB
NetWare メモリー
256K アキxxx.xxM
SMB スプール
IPP メモリー
IPP スプール
EtherTalk メモリー
USB メモリー
Port9100 メモリー
[IPPメモリー]は HDD装着時は 表示されない
ショキカ/データサクジョ
NVメモリー ショキカ
[セット]デ ショキカ カイシ
ハードディスク ショキカ
シュウケイ レポート ショキカ
フォームノ サクジョ
ART EXフォーム サクジョ、ART4フォーム サクジョ、201Hフォーム サクジョ、ESC/Pフォーム サクジョ、PCLフォーム サクジョ
最大登録数
ハードディスク無:64、ハードディスク有:2048
ただし、201H、ESC/Pについては、ハードディスクの有無にかかわらず、64
0001. ABCDEFGH(登録時 例)、フォームトウロクハアリマセン(登録なし時)
セキュリティブンショサクジョ
ユーザーIDヲセンタク 1001.User1(登録時 例)、ブンショハアリマセン(登録なし時)
フォント サクジョ
PCLフォント サクジョ
機能追加
横に進むには 〈◀〉〈▶〉
上下に進むには /候補値選ぶには 〈▲〉〈▼〉
設定を確定するには 〈排出/セット〉

5　困ったときには

この章では、エラーメッセージやエラーコードについて、追加 / 変更された項目を説明します。

5.1　メッセージについて

操作パネルに表示されるメッセージを追加しました。
『ユーザーガイド』の「5.4 メッセージ一覧」と合わせてお読みください。

メッセージについて

操作パネルに追加されたメッセージについて説明します。

参照

- xxx-xxx といったエラーコードが表示されている場合は、『ユーザーズガイド』の「5.4 メッセージ一覧」の「エラーコード一覧」、および本書の「5.2 エラーコードについて」(P.33) を参照してください。

追加になったメッセージ

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
ﾌｭｰｻﾞ E ｺｳｶﾝ	定期交換部品（定着ユニット）の寿命です。 販売店にご連絡ください。

5.2　エラーコードについて

追加、変更、または削除されたエラーコードを説明します。

追加になったエラーコード

エラーコード	原因 / 処置
001-398	冷却ファンの起動に失敗しました。 本機の電源を切ってください。10 秒経過後、本機の電源を入れてください。 同じエラーが再度、表示されたときは、販売店にご連絡ください。
006-335	ラスターミラー駆動モータが、規定の時間内に規定の回転数になりませんでした。 本機の電源を切ってください。10 秒経過後、本機の電源を入れてください。 同じエラーが再度、表示されたときは、販売店にご連絡ください。
010-349	センサー異常を検知しました。 本機の電源を切ってください。10 秒経過後、本機の電源を入れてください。 同じエラーが再度、表示されたときは、販売店にご連絡ください。

変更になったエラーコード

エラーコード	原因 / 処置
016-762	実装されていないプリント言語が指定されました。 標準で、ART EX、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2、TIFF、PDF データを処理できます。PostScript データ、PCL データを送信するときは、オプションの PostScript ソフトウエアキットを取り付けてください。なお、PostScript ソフトウエアキットを使用する場合はメモリの増設が必要です。
016-799	プリントデータに不正なパラメーターが含まれています。 たとえば、プリンタードライバーまたはアプリケーションで、用紙サイズ、給紙トレイ、両面指定、排出トレイなどが、本機では処理できない組み合わせに設定されている可能性があります。設定を変更してから、もう一度印刷を指示してください。 用紙ガイドが正しくセットされているか、セットした用紙が上限を超えていないか、原稿用紙サイズとプリンター本体にセットされている用紙サイズが一致しているか確認してください。 ご利用の条件により、トレイやセンサーなどに異常がある場合もあります。上記の手順を行っても、問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

削除になったエラーコード

PDF Bridge 機能で LZW 圧縮を使用したオブジェクトを含む PDF ファイルをサポートしました。そのため、エラーコード「016-754」は、表示されません。

A　付録

付録では、本機の仕様について変更、および追加された機能を説明します。

A.1　重量・大きさの変更

概観の仕様変更に伴い、本機の重さや大きさが変更されました。

『ユーザーガイド』の「A 付録 A.1 主な仕様」の「製品の仕様」の該当箇所を次のように読み替えてください。

質量の変更について

各製品の質量は、次のとおりです。

製品名	質量
DocuPrint 205	22.2 ｋｇ
DocuPrint 255/305	24.2 ｋｇ

注記

プリンターの質量は、オプション品、用紙トレイ、消耗品、用紙を除いた本体のみの状態です。安全上の問題から、必ず 2 人以上で持ち運んでください。

大きさの変更について

各製品の大きさは、次のとおりです。

製品名	大きさ
DocuPrint 205	幅　505 x 奥行き 376 x 高さ 324 mm
DocuPrint 255/305	幅　505 x 奥行き 376 x 高さ 390 mm

動作音の変更について

各製品の動作音は、次のとおりです。

製品名	大きさ
DocuPrint 205 DocuPrint 255/305	稼動時 : 6.4 B(A) 待機時 : 4.5 B(A) 注記 ・ISO7779 に基づいて測定された結果です。 ・単位 B(A) : 音響パワーレベル

A.2　バーコードの設定

PostScript で使用できるフォントにバーコードを追加しました。
対応するバーコードの種類、バーコードキャラクタに割り当てられた文字コード、印刷されるバーコードのサイズなどについて説明します。なお、バーコードの基本的な知識を習得されていることを前提に説明しています。

補足
PostScript を使用するには、オプションの PostScript ソフトウエアキットが必要です。

フォントの種類と文字コード

対応するバーコードの種類は、次のとおりです。

参照
- 各バーコードキャラクタを指定する場合に使用する文字コードは、「 文字コード表」(P. 37) を参照してください。
- 印刷されるバーコードのサイズについては、「 バーコードのサイズ」(P. 45) を参照してください。

バーコードの種類	PS フォント名	文字コード表の参照先
JAN	HitachiITHINJANH8-RG	「 JAN 文字コード表」(P. 37)
CODE39	HitachiIT-C39H8	「 CODE39 文字コード表」(P. 38)
NW7	HitachiITHINNW7H8-RG	「 NW7 文字コード表」(P. 39)
CODE129	HitachiITHINC128H8-RG	「 CODE128 文字コード表」(P. 39)
ITF（ベアラーバーなし）	HitachiITHINITFH8-RG	「 ITF(Interleaved 2 of 5) 文字コード表」(P. 43)
ITF（ベアラーバーあり）	HitachiITHINITFB-RG	
カスタマーバーコード	HitachiITHINPOSTBC-RG	「 カスタマバーコード文字コード表」(P. 44)

注記
- バーコードの読み取り性能は、印刷する用紙やバーコードリーダーの性能などに大きく依存します。導入前に、ご利用される環境で十分な検証を実施してください。

文字コード表

バーコードキャラクタを指定する場合に使用する文字コードを、バーコードの種類ごとに説明します。

JAN 文字コード表

JAN のバーコードキャラクタを印刷する場合に使用する文字コードは、次のとおりです。

キャラクタ	文字コード					
	左側奇数パリティ		左側偶数パリティ		右側偶数パリティ	
	HEX 表現	ASCII 表現	HEX 表現	ASCII 表現	HEX 表現	ASCII 表現
0	30	0	41	A	4B	K
1	31	1	42	B	4C	L
2	32	2	43	C	4D	M
3	33	3	44	D	4E	N
4	34	4	45	E	4F	O
5	35	5	46	F	50	P
6	36	6	47	G	51	Q
7	37	7	48	H	52	R
8	38	8	49	I	53	S
9	39	9	4A	J	54	T
左側ガードバー	22	"				
右側ガードバー	23	#				
センターバー	21	!				

CODE39 文字コード表

CODE39 のバーコードキャラクタを印刷する場合に使用する文字コードは、次のとおりです。

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
$	24	$	8	38	8	M	4D	M
%	25	%	9	39	9	N	4E	N
*	2A	*	(SP)	20	SP	O	4F	O
+	2B	+	A	41	A	P	50	P
-	2D	-	B	42	B	Q	51	Q
.	2E	.	C	43	C	R	52	R
/	2F	/	D	44	D	S	53	S
0	30	0	E	45	E	T	54	T
1	31	1	F	46	F	U	55	U
2	32	2	G	47	G	V	56	V
3	33	3	H	48	H	W	57	W
4	34	4	I	49	I	X	58	X
5	35	5	J	4A	J	Y	59	Y
6	36	6	K	4B	K	Z	5A	Z
7	37	7	L	4C	L	(SP)	40	@

NW7 文字コード表

NW7 のバーコードキャラクタを印刷する場合に使用する文字コードは、次のとおりです。

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
$	24	$	0	30	0	A	41	A
+	2B	+	1	31	1	B	42	B
-	2D	-	2	32	2	C	43	C
.	2E	.	3	33	3	D	44	D
/	2F	/	4	34	4	A	61	a
			5	35	5	B	62	b
			6	36	6	C	63	c
			7	37	7	D	64	d
			8	38	8			
			9	39	9			
			:	3A	:			

CODE128 文字コード表

CODE128 のバーコードキャラクタを印刷する場合に使用する文字コードは、次のとおりです。

数値	キャラクタ			文字コード	
	コード A	コード B	コード C	HEX 表現	ASCII 表現
0	SP	SP	00	20	SP
1	!	!	01	21	!
2	"	"	02	22	"
3	#	#	03	23	#
4	$	$	04	24	$
5	%	%	05	25	%
6	&	&	06	26	&
7	'	'	07	27	'
8	(	(	08	28	(
9	)	)	09	29	)
10	*	*	10	2A	*
11	+	+	11	2B	+
12	,	,	12	2C	,
13	-	-	13	2D	-
14	.	.	14	2E	.

数値	キャラクタ			文字コード	
	コード A	コード B	コード C	HEX 表現	ASCII 表現
15	/	/	15	2F	/
16	0	0	16	30	0
17	1	1	17	31	1
18	2	2	18	32	2
19	3	3	19	33	3
20	4	4	20	34	4
21	5	5	21	35	5
22	6	6	22	36	6
23	7	7	23	37	7
24	8	8	24	38	8
25	9	9	25	39	9
26	:	:	26	3A	:
27	;	;	27	3B	;
28	<	<	28	3C	<
29	=	=	29	3D	=
30	>	>	30	3E	>
31	?	?	31	3F	?
32	@	@	32	40	@
33	A	A	33	41	A
34	B	B	34	42	B
35	C	C	35	43	C
36	D	D	36	44	D
37	E	E	37	45	E
38	F	F	38	46	F
39	G	G	39	47	G
40	H	H	40	48	H
41	I	I	41	49	I
42	J	J	42	4A	J
43	K	K	43	4B	K
44	L	L	44	4C	L
45	M	M	45	4D	M
46	N	N	46	4E	N
47	O	O	47	4F	O
48	P	P	48	50	P
49	Q	Q	49	51	Q
50	R	R	50	52	R

数値	キャラクタ			文字コード	
	コード A	コード B	コード C	HEX 表現	ASCII 表現
51	S	S	51	53	S
52	T	T	52	54	T
53	U	U	53	55	U
54	V	V	54	56	V
55	W	W	55	57	W
56	X	X	56	58	X
57	Y	Y	57	59	Y
58	Z	Z	58	5A	Z
59	[	[	59	5B	[
60	¥	¥	60	5C	¥
61	]	]	61	5D	]
62	^	^	62	5E	^
63	_	_	63	5F	_
64	NUL	`	64	60	`
65	SOH	a	65	61	a
66	STX	b	66	62	b
67	ETX	c	67	63	c
68	EOT	d	68	64	d
69	ENQ	e	69	65	e
70	ACK	f	70	66	f
71	BEL	g	71	67	g
72	BS	h	72	68	h
73	HT	I	73	69	I
74	LF	j	74	6A	j
75	VT	k	75	6B	k
76	FF	l	76	6C	l
77	CR	m	77	6D	m
78	SO	n	78	6E	n
79	SI	o	79	6F	o
80	DLE	p	80	70	p
81	DC1	q	81	71	q
82	DC2	r	82	72	r
83	DC3	s	83	73	s
84	DC4	t	84	74	t
85	NAK	u	85	75	u
86	SYN	v	86	76	v

数値	キャラクタ			文字コード	
	コード A	コード B	コード C	HEX 表現	ASCII 表現
87	ETB	w	87	77	w
88	CAN	x	88	78	x
89	EM	y	89	79	y
90	SUB	z	90	7A	z
91	ESC	{	91	7B	{
92	FS	|	92	7C	|
93	GS	}	93	7D	}
94	RS	~	94	7E	~
95	US	DEL	95	7F	
96	FNC 3	FNC 3	96	A1	
97	FNC 2	FNC 2	97	A2	
98	SHIFT	SHIFT	98	A3	
99	CODE C	CODE C	99	A4	
100	CODE B	FNC 4	CODE B	A5	
101	FNC 4	CODE A	CODE A	A6	
102	FNC 1	FNC 1	FNC 1	A7	
103	START(CODE A)			A8	
104	START(CODE B)			A9	
105	START(CODE C)			AA	
106	STOP			AB	

ITF(Interleaved 2 of 5) 文字コード表

ITF のバーコードキャラクタを印刷する場合に使用する文字コードは、次のとおりです。

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
00	21	!	30	3F	?	60	5D	]
01	22	"	31	40	@	61	5E	^
02	23	#	32	41	A	62	5F	_
03	24	$	33	42	B	63	60	`
04	25	%	34	43	C	64	61	a
05	26	&	35	44	D	65	62	b
06	27	'	36	45	E	66	63	c
07	28	(	37	46	F	67	64	d
08	29	)	38	47	G	68	65	e
09	2A	*	39	48	H	69	66	f
10	2B	+	40	49	I	70	67	g
11	2C	,	41	4A	J	71	68	h
12	2D	-	42	4B	K	72	69	i
13	2E	.	43	4C	L	73	6A	j
14	2F	/	44	4D	M	74	6B	k
15	30	0	45	4E	N	75	6C	l
16	31	1	46	4F	O	76	6D	m
17	32	2	47	50	P	77	6E	n
18	33	3	48	51	Q	78	6F	o
19	34	4	49	52	R	79	70	p
20	35	5	50	53	S	80	71	q
21	36	6	51	54	T	81	72	r
22	37	7	52	55	U	82	73	s
23	38	8	53	56	V	83	74	t
24	39	9	54	57	W	84	75	u
25	3A	:	55	58	X	85	76	v
26	3B	;	56	59	Y	86	77	w
27	3C	<	57	5A	Z	87	78	x
28	3D	=	58	5B	[	88	79	y
29	3E	>	59	5C	¥	89	7A	z

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
90	7B	{	94	A1		98	A5	
91	7C	|	95	A2		99	A6	
92	7D	}	96	A3		スタート	A7	
93	7E	~	97	A4		ストップ	A8	

ITF では、バーで表すキャラクタと、スペースで表すキャラクタの 2 つのキャラクタの組を 1 つの文字コードで指定します。

ただし、スタートキャラクタと、ストップキャラクタは 1 つの文字コードで指定します。

例：

「3」の意味を持つバーと、「7」の意味を持つスペースのキャラクタの組を印刷する場合は、「46」（HEX 表現）を指定します。

「7」の意味を持つバーと、「3」の意味を持つスペースのキャラクタの組を印刷する場合は、「6A」（HEX 表現）を指定します。

カスタマバーコード文字コード表

カスタマバーコードのバーコードキャラクタを印刷する場合に使用する文字コードは、次のとおりです。

キャラクタ	文字コード		キャラクタ	文字コード	
	HEX 表現	ASCII 表現		HEX 表現	ASCII 表現
スタート	3C	<	CC1	61	a
ストップ	3E	>	CC2	62	b
-	2D	-	CC3	63	c
0	30	0	CC4	64	d
1	31	1	CC5	65	e
2	32	2	CC6	65	f
3	33	3	CC7	67	g
4	34	4	CC8	68	h
5	35	5			
6	36	6			
7	37	7			
8	38	8			
9	39	9			

バーコードのサイズ

印刷されるバーコードのおおよその大きさを求める計算式は、次の表のとおりです。

印刷されるバーコードのサイズは、使用するプリンターの特性、解像度、印刷用紙などによって、同じプログラムでも異なることがあります。この表の計算式によって算出した値は、実際に印刷されるバーコードのサイズを保証するものではありません。印刷するバーコードの全長などを見積もる際の目安として利用してください。

バーコードの種類	計算式	
	幅	高さ
JAN（標準）	P × 0.502	P × 0.352
	左右のマージンは含みません。	ガードバーの高さを示します。
JAN（短縮）	P × 0.354	P × 0.352
	左右のマージンは含みません。	ガードバーの高さを示します。
CODE39	P ×（C+2）× 0.106	P × 0.352
	左右端のキャラクタ間ギャップは含みません。 C は、チェックディジットを含みます。	
NW7	P ×（C1 × 0.132+C2 × 0.148-0.026）	P × 0.352
	左右端のキャラクタ間ギャップは含みません。 C1、または C2 は、チェックディジットを含みます。	
CODE128	P ×（C × 0.081+0.096）	P × 0.352
	モード C の場合の計算式です。	
ITF（ベアラーバーなし）	P ×（(C/2 × 0.175）+0.093）	P × 0.352
	クワイエットゾーンは含みません。 C は、チェックディジットを含みます。	
ITF（ベアラーバーあり）	P ×（(C/2 × 0.137）+0.323）	P × 0.352
	ベアラーバー、およびクワイエットゾーンを含みます。 C は、チェックディジットを含みます。	ベアラーバーを含みます。
カスタマバーコード	P × 7.297	P × 0.342
	スタートコードの黒バー以前、およびストップコードの黒バー以降のスペースは含みません。	ロングバーの高さを示します。

P：フォントサイズ（ポイント数）
C：キャラクタ数
C1：キャラクタ数（0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、-、$）
C2：キャラクタ数（:、/、.、+、A、B、C、D）

サンプルプログラム

バーコードを印刷するサンプルプログラムと、サンプルプログラムの出力結果の PDF を用意しています。バーコードを印刷するときの参考にしてください。

■ サンプルプログラム・出力結果 PDF 格納先

下記の弊社ホームページから、ダウンロードしてください。

http://download.fujixerox.co.jp/docuprint/download/350jm/sample.html

■ サンプルプログラム名

barcode_sample.ps

■ 出力結果 PDF 名

barcode_sample.pdf

A.3　QR ｺｰﾄﾞ の設定

QR コードの印刷機能を追加しました。

QR コードを印刷するための PostScript カスタムオペレーターについて説明します。なお、PostScript および QR コードについての基本的な事項は、すでに習得されていることを前提にしています。詳細は、PostScript および QR コード関連の文献を参照してください。

QR ｺｰﾄﾞ を印刷するには

QR コードの設定の手順は、次のとおりです。

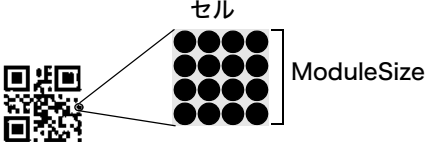
1. QR コードを生成するためのパラメーターを設定します。
2. コード化したい文字列を与えて、QR コードを印字します。
3. 印字位置の指定は PostScript コマンドでユーザーが指定します。

補足

設定されたパラメーターは、ジョブ開始時に毎回、デフォルトの値にリセットされます。

カスタムオペレーター一覧

QR コードを印刷するための PostScript カスタムオペレーターを説明します。

補足
・「未サポート」と記載している機能は、使用できません。

■パラメーター指定

semantics:

dict setqrparams　-

コード化する場合に使用するパラメーターをセットします。

dict は次の表に示されるエントリーを持つ辞書です。パラメーターは、ジョブ開始時にデフォルト値にセットされ、ジョブ実行中は設定された値を保持します。また、一部のエントリーが指定された場合は、指定されたエントリーのパラメーターだけが更新されます。

サポート範囲外の値が指定された場合は、rangecheck エラーになります。

キー	型	意味
Model	整数型	QR コードの種類を指定します。 1: モデル 1 （未サポート） 2: モデル 2 デフォルトは、2 です。
ModuleSize	整数型	セルの大きさを表します。 セルとは、QR コードを構成する最小の単位（白黒の正方形）です。セルの大きさは、1 ～ 50 の範囲で指定でき、単位はピクセルです。ModuleSize の値から、描画される QR コードの一辺の長さは、次の計算式で求められます。 （ModuleSize ×セル数）/ 解像度 デフォルトは、4 です。 セル ModuleSize 注記 ・ 実際に印刷して得られる大きさは解像度に依存します。 補足 ・ プリンターの解像度とセルの大きさを示した表を「参考：解像度とモジュールサイズごとのQRコードのセルの大きさ（目安）」(P. 49) に記載しています。ModuleSize を指定するときの目安にしてください。
ErrorCorrection	整数型	誤り訂正レベルを表します。 コードの一部分が損傷した場合でも、読み取り時にデータを復元することができるようにコードを生成することができます。損傷の度合いに応じた 4 段階の復元率を指定できます。 0 : レベル L (7%) 1 : レベル M (15%) 2 : レベル H (25%) 3 : レベル Q (35%) カッコ内はコードに対する損傷が占める面積の割合を示します。 デフォルトは、1 です。

キー	型	意味
Mode	整数型	データモードを表します。 0: 自動 1: 数字モード 2: 英数字モード 3: バイナリーモード 4: 漢字モード デフォルトは、0 です。
Mask	整数型	マスクを表します。 0 〜 8 までの値を指定できます。(0 から 7 は未サポート) デフォルトは、8 です。
Divide	論理型	分割を行うか否かを表します。 true: 分割する false: 分割しない デフォルトは、false です。
DivideDetails	辞書型	Divide が true の場合だけ有効です。 詳細は次表を参照してください。

DivideDetails のエントリー一覧

キー	型	意味
Num	整数型	分割数を表します。 1 〜 16 までの値を指定できます。 デフォルトは、1 です。
Part	整数型	分割されたコードのうち、何番めを印字するかを表します。 1 から Num で指定された値までの範囲が有効になります。
Parity	整数型	パリティを表します。(未サポート)

エラー：

stackunderflow, typecheck, rangecheck

参考：解像度とモジュールサイズごとの QR コードのセルの大きさ（目安）

＊表中の値は、小数点第 3 位を四捨五入しています。(単位 :mm)

Module Size	解像度（dpi）	
	600	1200
1	0.04	0.02
2	0.08	0.04
3	0.13	0.06
4	0.17	0.08
5	0.21	0.11
6	0.25	0.13
7	0.30	0.15
8	0.34	0.17
9	0.38	0.19
10	0.42	0.21
11	0.47	0.23

Module Size	解像度（dpi）	
	600	1200
26	1.10	0.55
27	1.14	0.57
28	1.19	0.59
29	1.23	0.61
30	1.27	0.64
31	1.31	0.66
32	1.35	0.68
33	1.40	0.70
34	1.44	0.72
35	1.48	0.74
36	1.52	0.76

Module Size	解像度（dpi）	
	600	1200
12	0.51	0.25
13	0.55	0.28
14	0.59	0.30
15	0.64	0.32
16	0.68	0.34
17	0.72	0.36
18	0.76	0.38
19	0.80	0.40
20	0.85	0.42
21	0.89	0.44
22	0.93	0.47
23	0.97	0.49
24	1.02	0.51
25	1.06	0.53

Module Size	解像度（dpi）	
	600	1200
37	1.57	0.78
38	1.61	0.80
39	1.65	0.83
40	1.69	0.85
41	1.74	0.87
42	1.78	0.89
43	1.82	0.91
44	1.86	0.93
45	1.91	0.95
46	1.95	0.97
47	1.99	0.99
48	2.03	1.02
49	2.07	1.04
50	2.12	1.06

■パラメーター取得

semantics:
- **currentqrparams** *dict*

現在設定されている QR コード化のためのパラメーター辞書を返します。辞書の詳細は、「パラメーター指定」を参照してください。

エラー：
stackoverflow

■描画指定

semantics:
string rotate **qrshow** -
string **qrshow** -

string で指定された文字列を、現在設定されているパラメーターで QR コードにして描画します。オペレーター内では QR コードをイメージとして、カレントポイントに QR コードの左下が来るように描画します。string で 2 バイト 文字を指定する場合は、Shift-JIS エンコーディングを用いてください。

rotate は integer で指定され、時計回りの回転角度を表します。指定できる値は、0, 90, 180,270 です。これら以外の値を指定した場合は、rangecheck エラーになります。また、0 を指定したときの結果と、string だけを指定したときの結果は同じになります。

エラー：
stackunderflow, typecheck, rangecheck

■ QR コードセル数取得

semantics:
string **getqrcellsize** *integer*

string で与えた文字列を、現在のパラメーターで QR コードにした場合に使われるセル数を返します。

これにより、描画される QR コードの大きさを計算することができます。

モデル 2 の仕様で、バージョン 1 の場合、セル数は 21、バージョン 2 の場合、25 です。セル数は、(バージョン -1) × 4+21 で計算される値が返されます。

エラー：
stackunderflow, typecheck, rangecheck

注意事項

クワイエットゾーン（コードの周囲にある空白部分）の生成はしません。考慮のうえ PS コードを生成してください。

参考までに、モデル 2 で 4 セル分のクワイエットゾーンが必要になります。

サンプルプログラム

QR コードを印刷するサンプルプログラムと、サンプルプログラムの出力結果の PDF を用意しています。QR コードを印刷するときの参考にしてください。

■ サンプルプログラム・出力結果 PDF 格納先

下記の弊社ホームページから、ダウンロードしてください。

http://download.fujixerox.co.jp/docuprint/download/350jm/sample.html

■ サンプルプログラム名

QRcode_sample.ps

■ 出力結果 PDF 名

QRcode_sample.pdf

A.4 補修用性能部品について

弊社は、本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

A.5　関連情報（URL）

本機は、次のソフトウエアに対応しています。
詳細については、各ホームページを確認してください。

・ Print Utility for Citrix XenApp^{TM}
　http://www.fujixerox.co.jp/product/printutility_cxa/index.html

・ ApeosWare Device Type
　http://www.fujixerox.co.jp/product/aw_device_type/

・ IBM® パーソナル・コミュニケーションズ対応印刷ユーティリティ
　http://download.fujixerox.co.jp/docucentre/download/pcomm.html

本機のトナーや現像剤などの MSDS（製品安全データシート）を検索、閲覧できます。
詳細については、次のホームページを確認してください。

・ Material Safety Data Sheet（製品安全データシート）
　http://www.fujixerox.co.jp/eps/msds-ht-j-001.html

索引

記号・英数

ア

カ

サ

タ

ハ

マ

ヤ

ラ

DocuPrint 205/255/305 補足説明書

著作者 — 富士ゼロックス株式会社
発行者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月—2009 年 4 月　第 1 版

(部番 604E 37990)
(帳票 No: DE4272J1-1)

商品のお問い合わせ先について

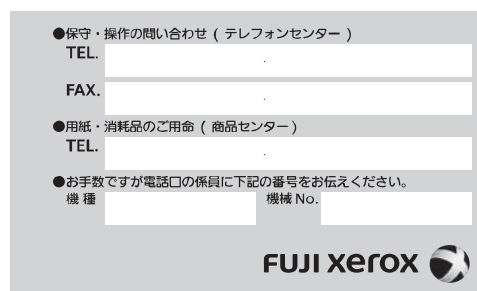
● この商品の保守、操作、修理（内容・期間・費用）のお問い合わせ、消耗品のご購入について、および本機を廃却する場合は、
商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、
または商品センターにお問い合わせください。

保守・操作の問い合わせ、
消耗品のご用命は、
裏面の電話番号へご連絡ください。

●裏面の記入がない場合の連絡先
富士ゼロックス株式会社
プリンターサポートデスク
TEL：0120-66-2209
受付時間 9:00～17:30
（土、日、祝日および弊社指定休業日をのぞく）

FUJI xerox

A-24017C

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。
（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX：**0120-14-1046**

フリーダイヤル受付時間：土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時～17時30分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。
お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

●富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル
0120-27-4100

フリーダイヤル受付時間：土・日・祝日および弊社指定休業日を除く９時～12時、13時～17時
フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。
お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

●インターネットホームページで富士ゼロックスの商品全般に関する情報、最新ソフトウエア等を提供しています。

http://www.fujixerox.co.jp

DocuPrint 205/255/305　補足説明書

この取扱説明書は、リサイクルに配慮して製本されています。不要となった際には回収、リサイクルに出しましょう。
この説明書の本文は再生紙を使用しております。

2009 年 4 月 1版　部版：604E 37990　帳票番号：DE4272J1-1